

太平洋戦争開戦の日、スパイとされた大学生と米国人教師の悲劇。

2013年12月に成立した、秘密保護法案。公布から1年以内に施行される事が決定した。法案は「機密情報を選抜した者への罰則を強化するため」と政府は説明しているが、国会での議論と市民への説明が十分に尽くされたとは言えない。

秘密保護法とソックリな戦前の悪法・軍機保護法施行下で起こった「レーン・宮沢事件」を通じたひとつの幻の作品が緊急DVD化！日本国内だけでなくアメリカ・イタリアへロケ取材。知られざる日本の歴史的事件を掘り起こした問題作。安倍改憲・秘密保護法復活のいまこそ必要！



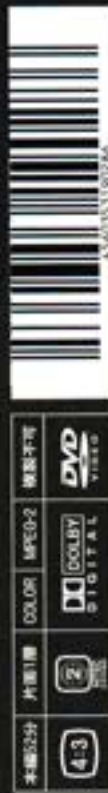
主な証書者

秋間美江子(米国在住・宮沢弘幸の妹)
フオスコ・マラーニ(イタリア人留学生・宮沢の親友)
上田廣西(俳優・事件の真相解明に尽力)
新下彰治郎(新聞記者・国家秘密法取材)

【レーン・宮沢事件とは】太平洋戦争開戦日の1941年(昭和16年)12月8日、北海道大正工芸部2年の宮沢弘幸さんと、北海道大学予科の英語教師ハロルド・レーンさん、妻のポーリンさんの3人が軍機保護法違反などの疑いで逮捕され、それぞれ服役12年から15年の刑を受けた事件。流行中に見かけた、航空の海軍飛行場について、宮沢さんがレーン夫妻に通報したことが、軍事機密の漏洩とされた。当時、リンダバーク大使の飛来などで海軍飛行場の存在は周知の事実であった。宮沢さんは1945年10月に釈放されたが、獄中で病気を患い、1年4ヶ月後に死亡した。

【秋間美江子さん(宮沢弘幸の妹)の証言】 いろいろな時間があつたそうです。立ち上がり、両足をついて両手もつく。それをかこと言つたそうです。とっても苦しいからなんでしょう。それで、1時間でも2時間でも立っているそうです。「だからボクは一生かこなかなかないんだ。だってお兄ちゃんかこになつちやたんだもん」。次兄が言つたその言葉は今でも耳に残っています。

個人所有 3000円(税別) 団体・学校用価格 9000円(税別) 企画制作 ビデオプレス
173-0036 東京都港区南2-22-17-108 TEL03-3530-6578 FAX03-3530-6578 <http://vpress.co.jp/>



無添付上巻及びレンタル不可

秘密保護法とソックリな戦前の悪法・軍機保護法施行下で起こった「レーン・宮沢事件」を追う、ドキュメンタリー映画

レーン・宮沢事件

もうひとつの12月8日

演出：秋元健一



1993年制作・ビデオプレス作品・品・52分

